

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名

あいあい静岡駅南校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	②	職員の配置数は適切である	6	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・子どもの刺激になるようなものは除去し、シンプルな生活空間を心がけている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0		
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・本事業所評価を公開している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・本事業所評価を公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		・第3者による外部評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・教室内外の研修、事例検討などに参加している。	・2023年度も研修計画を作成し、計画的に研修を積み重ねていく。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・年度初めのアセスメントのほか、保護者からの情報を全体で共有して常に最新の情報にアップデートするようにしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・NC プログラムを活用し、アセスメントをとっている。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2	4	・個別療育の提供のみで、集団での活動は行っていない。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	5	・朝のミーティングで情報を共有する機会をもっている。 ・イレギュラーな予定の場合には、職員の動きや、お子さんが安全に過ごせるよう、シミュレーションしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	6	・朝のミーティングで情報を共有する機会をもっている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0			
関係機関 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	・サービス担当者会議自体があまり開催されないが、開催された場合には、児発管と担当指導員が参加できている。	・必要な場合はサービス担当者会議の開催を相談支援事業所に働きかけていく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2	・保護者と連携できている。 ・現在は医療ケアが必要なお子さんは在籍していない。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0	・保護者と連携できている。	

	⑫	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		
	⑬	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・保護者をとおして連携をすることができている。	
	⑭	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	・静岡市発達障害者支援センターきらりの放デイ向け研修などに参加している。	・引き続き、静岡市発達障害者支援センターきらりの研修に参加していく。
	⑮	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	・情報の共有はあるが、コロナの影響もあり、子どもたちが交流する機会は設けていない。	
	⑯	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	・半年に1度開催される「葵区駿河区放デイ連絡会」に参加している。	・引き続き、「葵区駿河区放デイ連絡会」に参加していく。
	⑰	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・毎回、支援の終わりに保護者と話す	
	⑱	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	0	・2022年度は9～11月にかけてペアレントプログラム講座を開催してきました。	・2023年度もペアレントプログラムを開催する予定。
	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・児発管が契約時にやっている。	
保護者への説明責任等	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・半年に1回のモニタリングや日々の支援で行っている。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・毎回の支援で保護者と話す時間を設けている。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		・2023年度は保護者会の開催を検討していく。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	・ブログやLINEをとおして発信している。	・2023年度は会報を検討していく。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・職員室がオープンなので、お子さんの名前が見えないように、全	
	㉗					

				員で声をかけあっている。		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	・コロナ禍ということもあり、難しい。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・毎月の防災訓練を積み重ねている。	・各種マニュアルが玄関に設置されていることを保護者に周知していく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・毎月の防災訓練を積み重ねている。	・訓練内容などを引き続きブログやLINEなどで配信していく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・万が一の状況を想定しての通報訓練などを積み重ねている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	6	・あいあいで食事をする機会はないため、食物アレルギーについて触れることはほぼない。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・すべての個別支援計画に「安全のためやむを得ず身体拘束する可能性があること」を明記している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名： あいあい静岡駅南校      保護者等数（児童数）：11人（12人）      回収数：13人      割合：118%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	0	0		・2つの支援室はよいとして、奥の相談室はやや手狭な形になります。ご迷惑をおかけします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	0	2	・子どもがくしゃみができます。 ・手洗いの水道がお湯がでないため、水で冷たい。うちの子は違いますが、中には感覚過敏でお水が痛く感じるお子さんもいます。お湯が出た方がいいと思います。	・以前、給湯器の導入を検討したことはありませんでした。しかし、学校の設備に準じた対応をしようということになり、導入を見送った経緯があります。水での手洗いが大変な場合、消毒での対応をしていくようにします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	2	3		・2つの支援室はよいとして、奥の相談室はやや手狭な形になります。ご迷惑をおかけします。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	1	0	1	・ガイドラインを見たことがないように思う。	・あいあい静岡駅南校の玄関にガイドラインをおいてあります。いつでもご覧ください。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	0	・どの先生も共通理解されており、非常に満足している。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	0	0	1	・子どもの好きなこと、得意なこと、また苦手なことをまんべんなく組み合わせられた支援を提供してくれている。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	7		・コロナ禍のなかということもありますが、障害のない子どもとの活動の機会もできておりませんでした。今後とも検討はしておりません。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	1	0	1		・「ガイドライン」は玄関の棚においてありますので、いつでもご覧ください。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	0	0	4		・2022年9月よりペアレントプログラムの講座を開催してまいりました。LINEにてご案内してあるとおりです。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	0	0	2	・先生たちとは十分にコミュニケーションできている。満足している。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	0	2		・毎回の支援後のフィードバックの時間で相談を受け付けてまいります。お時間をとる場合には、事業所内相談でも受け付けることができます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	3	8	・コロナもコントロールされている。そろそろ交流会など積極的に行ってほしいと思う。	・2023年度は保護者会を開催していく予定です。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	0	0	1		・毎回の支援後のフィードバックでの相談、あるいは事業所内相談などの時間をとおして、保護者様からの相談に対応してまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	0		・ひきつき、毎回の支援後のフィードバックを充実させてまいります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1	0	6		・2023年度は会報を検討してまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	2		・ひきつき、個人情報の取り扱いについては十分に留意してまいります。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	1	0	2		・各種マニュアルは玄関に設置してあります。いつでもご覧ください。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	6		・毎月防災訓練を実施してきました。2022年度は9～10月に、避難場所への移動訓練も実施しました。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。